第２回吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館青少年活動サポートプラザ
指定管理者候補者選定委員会議事録

１　開催日時　令和３年１０月８日（金）午前１０時から正午まで

２　開催場所　夢つながり未来館（ゆいぴあ）２階　会議室

３　選定委員会次第
⑴　選定方法等の確認
⑵　ヒアリング審査
⑶　指定管理者候補者の選定
⑷　その他

４　出席委員（５名）
委員長　　若槻　健
副委員長　水野　篤夫
委員　　谷村　綾子
委員　　三浦　久美
委員　　金子　真也

５　出席者
木戸　誠　（地域教育部部長）
大川　雅博（地域教育部青少年室室長）
市場　千嘉子（地域教育部青少年室参事　青少年活動サポートプラザ所長兼務）
前田　隆男（地域教育部青少年室主幹）
藤崎　善規（地域教育部青少年室主査）
中田　亜夕子（地域教育部青少年室係員）
今泉　良太（地域教育部青少年室係員）

６　議事録
（委員長）
ただ今から、第２回吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館青少年活動サポートプラザ指定管理者候補者選定委員会を開催いたします。
委員の皆様におかれましては､本委員会にご出席いただき､ありがとうございます。
指定管理者の申請につきましては、１団体から応募がございました。
本日は、効果的に施設の設置目標を達成できる団体を候補者として選定していただ

きたいと思いますので、よろしくお願いいたします。
それでは、事務局より委員会の出席状況の報告をお願いします。

（事務局）
はい、本日の選定委員会の出席者の状況を報告いたします。
選定委員の総数５名中、出席者５名であり、委員の過半数の出席がございますので、「青少年活動サポートプラザの管理運営に関する規則」第２５条第２項の規定により、本選定委員会は成立していることを報告いたします。

（委員長）
それでは、配付資料の確認を事務局からお願いします。

～　事務局：配付資料の確認　～

次第⑴　選定方法等の確認
（委員長）
それでは、次第１「選定方法等の確認」について、事務局から説明をお願いします。

（事務局）
それでは、まず応募状況からご報告させていただきます。
９月１５日（水）から９月２２日（水）の間、指定申請の受付を行いましたところ、１団体より申請がございました。
本日の選定委員会は、応募団体の提案内容について、書類とヒアリングにより審査・採点を行っていただき、指定管理者候補者としての適否について、ご結論をお出しいただければと考えております。
ヒアリング審査は、当初、複数団体を想定して提案説明１５分、その後質疑応答に１０分を予定しておりましたが、今回、応募が１団体ですので、質疑応答につきましては時間を超過して行うことも可能でございます。提案書や本日の団体の説明などをもとに、疑問点や確認の必要な内容については、この後のヒアリング審査で申請のあった団体に直接ご質問願います。
なお、本委員会は、「吹田市審議会等の設置及び運営に関する指針」９の（２）、「吹田市情報公開条例」第７条第３号及び第４号の規定に基づき、非公開の取り扱いといたします。
また、議事内容につきましては、発言者が分からない形で、選定結果とともに市のホームページ等に公開させていただきますので、よろしくお願いいたします。

最後に選定方法についてご説明させていただきます。

本日配付しております､｢指定管理者候補者の選定方法等について｣をご覧ください。

「５　選定方法」の（１）選定の基準　として、｢選定委員が採点した総評点は、２００点満点中、１２０点を最低基準とし、過半数の選定委員が１２０点以上と採点した団体を選定対象とする。｣｢各選定委員は、総評点の点数による順位付けを行う。総評点が同じ場合は再度全体を見直し、順位付けを行うものとする。｣｢なお、応募が１団体だけの場合も同様の基準で選定する。｣とございます。

（２）選定方法では､｢１位と順位付けした委員数が多い者を上位とし、指定管理者候補者及び次点者を決定する。｣とありますが、これらは複数の団体の応募があった場合の選定方法となっています。

今回の応募団体は１団体ですので、この応募のあった団体を未来館の指定管理者候補者としてふさわしいかどうか、指定管理者候補として決定してよいかどうかを審査していただくこととなります。

（３）その他では､｢選定方法については、選定委員会が決定するものとする。｣と定めておりますので、５人の選定委員の皆様で、審査・評価いただいた結果、過半数の選定委員が１２０点以上と採点した場合、今回の応募団体が指定管理者候補者となります。

第１回選定委員会で決定いただいたこの基準で評価いただくということでよろしいでしょうか。

(委員長)

今、事務局から確認がありましたが、指定管理者候補者の適否の基準は、過半数の委員が１２０点以上と採点した場合､候補者となること､１団体の応募であったため、質疑は１０分にこだわらないこと、この２点について、よろしいでしょうか。

～　各委員：異議なし　～

(委員長)

それでは続きまして､選定基準２の①｢安定した管理運営ができる財力｣について、審査に先立ち、委員から団体の財務状況について考え方をお聞きし、各委員の審査の参考としていただきたいと思います。

それでは、委員よろしくお願いします。

～　委員：財務状況報告　～

（委員長）

ありがとうございます。

ご説明していただきましたが、何かご質問はございませんか。

（委員）

企業にとって無借金というのは当たり前のことですか。

（委員）

もちろん親会社が大きいということもありますが、応募団体は単体としても安定した経営をされていると思います。

次第⑵　ヒアリング審査

（委員長）

それでは、時間になりましたので、一般財団法人大阪市青少年活動協会・東京海上日動ファシリティーズ株式会社共同事業体の説明を受けることとします。

よろしくお願いします。

～　提案説明　～

（委員長）

はい、ありがとうございます。

それでは、事業計画書及びただいまの説明に対しまして、委員の皆様から質問がありましたら、よろしくお願いいたします。

（委員）

事業計画書の９５ページにあります学習室の運営時間について、月曜から金曜までの午前中の記述がないのですが、仕様では平日の午前中も開くということになっていますので、午前中も開くということでよろしいですか。

（一般財団法人大阪市青少年活動協会・東京海上日動ファシリティーズ株式会社共同事業体）

現状に基づいた交流ロビーの開放時間を想定しておりまして、現在も小中学生が常に来館するお昼以降からの開放を考えています。それに倣ったような形で午後から交流ロビーも開放するという記載をさせていただいております。

学習室は、これまでと同様の運用を考えさせていただいておりますので、平日の午前中から運営します。

（委員）

３点ほどお聞かせ願いたいのですが、まず、管理体制計画書の４ページ目にローテーションの表があるのですが、どういった配置になるのか、責任者と副責任者が１日の時間をどう動かれているのかが分かりにくかったので教えてください。

次に、目的の話になるのかなと思うのですが、青少年の支援の拠点であるとご説明いただき、吹田市の現状として非常に若い方が多いということが書かれていたと思います。人数が多いということは、ニーズが多様化していると考えられます。そもそもこの時代で若者の支援のニーズは、非常に多様化していると言えるのですが、その辺りについて、何か独自のお考えや、こういうことをしていきたい、未来館をこういう場所にしたい、というような子供若者支援へのお考えがありましたら、お聞かせください。

最後に３点目ですが、青少年自らが行事の企画や運営をする青少年委員会については、吹田市から指定管理者の運営に変わりますが、その際、具体的にどのような方法で何をするのかがつかみにくかったので、ご提案があればお願いします。

以上、３点についてお願いします。

（一般財団法人大阪市青少年活動協会・東京海上日動ファシリティーズ株式会社共同事業体）

まずローテーションの説明ですが、大きく分けまして貸室を担当する管理チームで１つ、交流支援チームについては、現在の交流支援業務をイメージした部分になりまして、主に窓口に来られる青少年ですとか、学習室の対応などを行う部門として大きく２つに分けさせていただいております。

実際には、時期によりまして窓口に多くの方が来館される時間帯ですとか、平日の午前中のようにかなり少ない状況などもありますので、その辺りの実情を踏まえまして、細かくシフト体制という形で出しております。

管理チームは、貸室の窓口及び今後は支援と管理の業務が統合されるということになりますので、その辺りもマルチスタッフ化として兼務しながらの体制を考えていますが、大きく２つに分けての対応ということで出させていただいております。

（委員）

ローテーション表の責任者という欄は、どういうことですか。

（一般財団法人大阪市青少年活動協会・東京海上日動ファシリティーズ株式会社共同事業体）

責任者については、統括で管理チームと支援チームの管理を責任者として対応することを考えておりますので、どちらかだけに従事するということではなく、トータルでの責任者という位置付けで考えております。

（委員）

責任者という方がいらっしゃって、それに支援チームの方と管理チームの方が出勤してくるという形ですか。それとも、この中から責任者を位置付けるという形ですか。

（一般財団法人大阪市青少年活動協会・東京海上日動ファシリティーズ株式会社共同事業体）

そうですね。実際には副責任者という位置付けがありますので、管理体制の２ページになるのですが、左上のところに組織図を載せていただいておりまして、トータルの責任者、総括責任者という形で責任者を１名配置しまして、それぞれ支援チームと管理チームで副責任者を配置することで、責任者が不在の際でも副責任者で対応できるような体制を考えております。

（委員）

繁忙期の例とありますけれども常時そういう体制を取られているということですか。

（一般財団法人大阪市青少年活動協会・東京海上日動ファシリティーズ株式会社共同事業体）

そうですね、実際に現在対応させていただいている体制をベースにしていますので、少し細かい表記になっているのですが、その想定で考えております。

（委員）

ありがとうございます。

（一般財団法人大阪市青少年活動協会・東京海上日動ファシリティーズ株式会社共同事業体）

次に２つ目の支援拠点としての若者に対する役割という部分なのですが、その辺りについては、支援業務の部分で本当に多様化しているところを日々感じておりまして、家庭の問題ですとか、学校の問題ですとか、本当に多様な内容の対応をさせていただいています。

まず私達としては、「聴く」というところ、「共感する」というところも含めまして様々な内容に対してフラットに聴くことができる体制を取らせていただいております。

実際には、そこで解決までは至らないということも多々あるのですが、その辺りは未来館の特徴としましても２階に相談業務の専門員の方がおられますので、内容に応じて相談業務と連携して内容を引継ぎさせていただいて、その方に応じた対応を随時協議しながら対応しているところです。

私達としては、「広く何でも言ってね。」というような形で聴き入れるような体制を取らせていただいているところです。

（委員）

子ども・若者総合相談センターから繋がるという形ですか。団体として子ども・若者総合相談センターの他に常時連携を取られている相談機関などがあるということですか。

（一般財団法人大阪市青少年活動協会・東京海上日動ファシリティーズ株式会社共同事業体）

基本的には未来館に相談機関があるので、子ども・若者総合相談センターに内容を随時引継ぎ、共有させていただいています。また、それだけで完結するのではなく、継続的に利用者の方は来られますので、内容を返していただいて、さらにそこから深めていくという継続的な内容で考えています。

（委員）

外部にも常に協力者と連携できる体制を取らないと青少年の問題を解決することは難しいですけども、そういった広い人材を活用できるとか、繋がりを作っていくという方向で考えておられるのか、とりあえず子ども・若者総合相談センターに繋げばいいという形での運営になっているのかが気になったのでお聞きしました。

（一般財団法人大阪市青少年活動協会・東京海上日動ファシリティーズ株式会社共同事業体）

実際には、内容によって社会福祉協議会や男女共同参画センターなど、幅広い連携を随時広げているところです。

まずは、子ども・若者総合相談センターに情報を共有させていただき、平行して進めさせていただくというところなので、何でも繋げておけばいいという訳ではなく、まずは私達で積極的に対応させていただいています。

３点目の青少年委員のことですが、具体的にということでしたので、今までは吹田市が募集されて、私達は会議などに参加させていただいていました。これからは、募集をして、委員が集まって、委員の中で話し合いをして、どのようなことをすれば未来館にふさわしい活動ができるかというような定例の会議を設けます。

その委員が集まることができる居場所のようなものを作りまして、継続的に少しずつ自分がこうしてみたいというような気持ちを引き出します。理想は、自主的な活動になってほしいなと思いますが、中学生から３０歳までと幅が広いので、その辺りをうまくコーディネートしながらいろいろな年代の人達が少しずつ成長できるような関わりができればいいなと考えております。

今までは、青少年委員が考えて、吹田市の運営のもと、年に１回の大きなイベントもありますので、そういったものを楽しみに参加されている方もいます。そういう経緯もしっかりと守りつつ、また新たなことを考えていけたらなと考えております。

（委員）

ロビーワーカーや青少年委員会などのボランティアにつきまして、どのような募集方法をお考えなのかということと、方針ということでもないですが、若者が多様化している中で、男女比であるとか障がいの有無であるとか、そういったことに関してお考えがあれば、お聞かせくだい。

（一般財団法人大阪市青少年活動協会・東京海上日動ファシリティーズ株式会社共同事業体）

まず、募集方法ですけども、近隣の大学へ話に行きまして直接学校にチラシ等配下させていただいて若い大学生のボランティアの募集を行っております。地域の方々向けに施設の中にパンフレットを置いたり、あとは直接的ではありますが、ロビーで話して仲良くなった人で思いを持っている人を見つけたりしたら、そういうところからどんどんメンバーを広げていっております。

理想は、大学生の先輩が、後輩を連れてくるような仕組みにしたくて３年ぐらい前までは、その仕組みが出来上がりつつあったのですが、コロナで現在休止しているというのが残念です。

活動が休止する前だと１９名おりまして、そのうちの約半数、９名が大学生、それ以外の方でいうと、社会人の方が６名、大人で家庭におられる方が３名、シニアの方が残りという構成で幅広い年齢層に来ていただいています。方針ですが、学生は学生の良さがありますし、シニアにはシニアの良さ、また青少年委員会の方も実は障がいがある方も参加されていまして、それぞれ自分の目標といいますか、こんなことをしてみたいとか実際できるかな、社会のルールと適合してるかなとか、結構個別に話をしていって納得のうえ進んでいくという、ちょっとゆっくり進むところもあります。

方針と呼べるものかわからないですけども、自分達で目標を決めて少しずつ進んでいくというところを大事にしております。

（委員長）

ありがとうございます。

その他いかがでしょうか。

（委員）

今回から指定管理者の業務に青少年交流活動支援業務を追加していますが、業務が想定より大きくなり、仮に収支計画で赤字になったとした場合、どのような対応をされるのでしょうか。

（一般財団法人大阪市青少年活動協会・東京海上日動ファシリティーズ株式会社共同事業体）

今回２つの業務が１つになったということ、それと仕様の追加等がございました。

いろいろと準備を進める中で一番の課題が、最低賃金が毎年上がってまして、平成２９年から１０９円ぐらい時給換算で上がっているという状況です。人を配置するとそこに経費がかかるという状況になっております。この先５年につきましても、継続して上がっていくのではないかと考えており、窓口業務、支援業務で働く私達の直接雇用している者以外にも、例えば清掃であったり、警備であったり委託しているところも人件費がすべて上がることになります。今回見積もり段階で、複数社から非常にびっくりするような高い金額が出ていまして、社会状況がそうなっているなと思っています。

今回の提案に当たりましては、私共がこれまで運営してきた部分でいろいろと分かっている部分があります。そういうところを繋げて、できるだけ経費縮減できるような形での提案にさせていただいています。経費が仮に超えてきた場合には、これまでの指定管理期間もそうでしたけども、超えないように運営していくのはもちろんですけれども、ただ経費縮減として、安全に関わるところ、利用者の方が不便になるところ､つまり人件費かかるからといって､窓口に一人だけ配置するというようなことは、これまでしてきませんでした。まずは赤字が出ないような運営を目指していく、ただしその上で若干の赤字が出た場合には、これまで同様、私共で負担していかなければならないなと思っております。以上です。

（委員長）

ありがとうございます。

その他いかがでしょうか。

（委員）

事業運営、施設運営の基本的な関わりについて、例えば３ページでは「支援的な関わりを基本に対応」と書かれています。それから社会教育施設としての必要な役割を果たしていくというような表現もあったかと思いますが、支援的ということと、教育的若しくは社会教育的なというのと少し距離感があると思って読ませてもらって、その辺りどういう理念をベースにして運営していこうと考えておられるのか補足をお願いします。

（一般財団法人大阪市青少年活動協会・東京海上日動ファシリティーズ株式会社共同事業体）

私達がこの業務をはじめて担当させていただいたときは、未来館のコンセプトを見て、子供が集まる場所みたいなイメージを持っていましたが、実際ロビーで青少年と関われば関わる程、細かな配慮や、その人に寄り添わないといけないという実感が出てきまして、本当は、みんな一律にこうですよ、こういう場所なのでこうですよ、ということでいいのかなと思っていたのですが、それでは難しい、私共がルールを決め

て「こういう場にしたらいいだろう」という感じの運営は違うと途中で気づきました。常連の青少年でよく話をする方は、何らかの悩みを持っていたりして結構繊細な話が多いです。居場所の中で、そういう繊細なところもキャッチしつつ、公共の場所の持ってる目的も考えないといけない。どちらもそれぞれの個性に合わせて対応していかないといけないのかなという実感はあります。

支援という言葉を書いているのは、先程、子ども・若者総合相談センターに繋ぐという話も出ましたが、そういう方々との関わりを大事にしていきたいなという気持ちからそういう形になっています。

（委員）

社会教育施設というならば社会教育という観点からどう運営されるのか、という記述がもう少し具体的に見えるといいなと思ったので、お尋ねをした訳です。

実感として支援に関わるようなことを求められる若者と出会ってきたということで、そういう表現が強くなったということですね。

（一般財団法人大阪市青少年活動協会・東京海上日動ファシリティーズ株式会社共同事業体）

今回、社会課題に応じた提案も求められておりますので、事業とかロビーの特性を生かして青少年にそういったことも伝えられるチャンスもあると思います。二面性もありますが、いろんな方にいろんなことを伝えていく、欲張りかもしれないですけど、日々話を聞いて対応していこうと思っております。

（委員長）

その他よろしいですか。

それでは以上で、質問を終了させていただきます。

ヒアリングもこれで終わりたいと思います。

ありがとうございました。

～　各委員：採点　～

～　事務局：集計　～

次第⑶　指定管理者候補者の選定

（委員長）

それでは、採点結果につきまして、事務局より報告をお願いします。

（事務局）

それでは、集計結果について、報告いたします。

先程お配りしました３枚の書類ですが、まず皆様にご記入いただきました審査一覧表、次に事務局が計算して印刷しました審査一覧表、最後に各委員の評価を一枚にまとめた審査結果一覧です。

まず、ご確認いただきたいのが、委員がご記入いただいた評価と事務局が転記して印刷しています評価に間違いはないでしょうか。

よろしいでしょうか。

～　各委員：了承　～

（事務局）

それでは、集計結果としまして、５名の選定委員のうち、全委員が最低基準である１２０点以上の評価をされています。

集計結果の報告は以上です。

（委員長）

ただいま事務局から報告がありましたが、すべての委員が１２０点以上の評価をしていますので、一般財団法人大阪市青少年活動協会・東京海上日動ファシリティーズ株式会社共同事業体を指定管理者候補者に選定するということでよろしいでしょうか。

～　各委員：異議なし　～

（委員長）

ここで点数だけではなく、この団体からの提案に関しまして、優れていた点や、もう少しこういうところを期待したいなどの感想を伺いたいと思います。

（委員）

これまで運営されてきた実績をもとにして、安定した運営が任せられるような提案内容でした。

市のニーズに応えた提案書となっているので、提案書には書かれていないような今後のビジョンについては､市と指定管理者が話し合う機会を持てばよいと感じました。

学校では一人１台のタブレットというような話も進んでいるので、今後、設置されるＷｉ－Ｆｉを活用した取組にも期待したいと思います。

（委員）

質疑応答で確認できましたので問題はないのですが、責任者の配置については、明確に配置すると書面上でもアピールしていただきたかったです。

（委員）

青少年活動に関わって、長い歴史と実績があるということを評価しました。

一面、時代の変化に応じて子供若者の支援という点で、今までの実績を大切にして踏襲するという姿勢を大切にされてきたのかなと思いますが、アグレッシブなというか独自の視点で、応募者が問題意識を持ってやっていきたいという思いをもう少し聞きたかったと思います。

（委員）

未来館のような施設を作っていただいたことはありがたいです。小学生は、学童保育や児童センターがありますが、中高生が集まる場はなかなかないので、居場所ができてよかったと思います。

運営自体もこれはダメだというような点はなく、むしろよくやってくださってうれしく思っています。青少年を取り巻く課題はたくさんありますが、青少年に寄り添うやり方を大切にした運営を続けていただきたい。

（委員）

未来館を利用している若者の背景にあるいろいろな問題・課題は非常に多様化している。それにどのように応えていくのかが、青少年の社会教育の課題であり、それを具現化する拠点が未来館であると思います。

その意味で、例えばここに来る若者だけではなく吹田の幅広い若者にどのようにアプローチしていくか、特に課題を持った若者について、教育的にかかわるのか、福祉面から関わるのかという両面が問われてくると思います。

応募者の答えの中でも、戸惑いも少し感じながら運営してきたということもあったのでよくわかっていると思います。

指定管理者の問題というよりは、今後、行政として新たな課題に対して未来館をどのように生かしていくのか、指定管理者と一緒になって何か考えていただけたら、より良い方向に向かうと思います。

管理者の選定という点からは、はみ出るかもしれませんが、今後に向けてはよりよいパートナーシップで運営いただくきっかけになったらうれしいと感じます。

（委員長）

一般財団法人大阪市青少年活動協会・東京海上日動ファシリティーズ株式会社共同事業体を指定管理者候補者に選定することをお認めいただきましたので、当選定委員会からの答申書を事務局へお渡ししたいと思います。

次第⑷　その他

（委員長）

今後のスケジュールにつきまして、事務局よりお願いします。

（事務局）

本日の選定委員会におきまして、指定管理者候補者を選定いただきました。

今後のスケジュールとしましては、この選定結果を受けまして、応募団体に対して速やかに書面で通知するとともに、吹田市のホームページに選定結果等を掲載いたします。ホームページには、選定委員の氏名も掲載いたしますが、議事録や審査結果は、発言者・評価者が特定できない形で掲載いたします。

また、事前にこういう形で掲載しますというものを各委員にお送りいたしますので、ご意見等いただければと思います。

また、指定管理者候補者は、名称も公表いたしますが、応募団体に不利益となる事項は公表しないものとします。

なお、ホームページには、選定理由等も掲載いたしますので、最終的に皆様からいただいた意見等をもとに作成し、委員長と調整させていただきたいと思います。

その後、１１月の教育委員会会議で指定議案の内容説明を行い、承認を受け、１２月の市議会で議決を得たいと考えております。

また、議会への提出前までに、議決を停止条件とする、管理に関する基本協定の締結を行う予定です。

最後に、本選定委員会委員の任期につきましては、この答申の日までとなっております。

今後のスケジュールのご説明は以上です。

（委員長）

事務局から説明がありましたが、何かご質問はございませんか。

～　各委員：質問なし　～

（委員長）

次に、先ほど事務局の方から、公表する選定理由等について、選定委員会の意見を基に委員長と調整させていただければとの説明がございましたが、そのように取り扱うことについて、ご異議ございませんでしょうか。

～　各委員：異議なし　～

（委員長）

それでは、本日の選定委員会は、これで終了としますが、事務局の方から何かございますか。

（事務局）

本日は、どうもお疲れ様でございました。

７月末から本日までの間に、集中的に且つ熱心にご審議をいただきまして、本日無事に指定管理者候補者を選定することができました、本当にどうもありがとうございました。

選定委員会は本日で終了ということになりますけれども、青少年活動サポートプラザが、青少年の拠点にふさわしい施設になりますよう、指定管理者とともに職員一同努力してまいりたいと考えておりますので、今後も引き続き、お力添え・ご協力の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

本日はどうもありがとうございました。